

# インド政府、Johnson & Johnsonのタルクの安全性を再確認

2019年2月28日

インド、ニューデリー— Johnson &

Johnsonは、政府認可の検査により当社製品がアスベストを含まないことが再確認されたことを受け、インドのBaddiとMulundの工場でのジョンソンベビーパウダーの生産を再開しました。この結論は、世界中の大学、研究所、政府の規制当局による数十年にわたる独立した検査により一貫して確認された、当社タルクの安全性をさらに裏付けるものです。

ここ数ヶ月間にわたりシンガポール、タイ、サウジアラビア、ヨルダン、クウェート、エジプトの規制当局も、Johnson & Johnsonのタルクの純度を再確認しています。

当社タルクは、定期的にサプライヤーと独立した研究室の両者によって検査され、アスベストフリーであることが保証されており、安全性に問題ありません。Johnson & Johnsonは世界の規制当局と全面的かつオープンに協力し、1960年代までさかのぼる、要求された情報すべてを提供してきており、規制当局が当社化粧品用タルクの調達源と、処置されたタルクを検査できるようにしてきました。

研究や臨床的根拠、そして40年にもおよぶ世界中の独立した医療専門家の研究により、化粧品用タルクの安全性が継続して裏付けられています。

何万人もの女性と数千人の男性を対象とした研究は、タルクががんやアスベスト関連疾患を引き起こさないことを示しています。

詳細は<http://www.factsabouttalcc.com>をご覧ください。

###